

赤磐でワークショップ

吉井を元気にしよう



赤磐市吉井地区の活性化に向けて意見を交わす地元住民ら

住民同士が意見交換

住民の高齢化や過疎が進む赤磐市吉井地区のまちづくりを考えるワークショップ(県備

した。

同地区は人口約3900人で、10年前から約1200人減少。高齢化率は45・9%と市平均(32・5%)を大きく上回る。ワークショップは住民協働による地域活性化を図るつと、初めて企画した。

先進事例の発表があり、NPO法人スマイル・ちわ(津山市)は草刈りなどを代行する「便利屋事業」や田舎暮らし体験で観光客を呼び込む企画を紹介。吉備中央町通所付添サポーター協議会は町内6地区で高齢者の外出を支援し、引きこもり防止につなげていることを報告した。

参加者は7グループに分かれて意見交換。「老人クラブ活動で子どもたちと交流する機会を増やそう」「料理や運動といった趣味が合う仲間が気軽に集まる場があれば」などアイデアを出し合った。(伊東圭一)